

# 一 般 質 問

令和5年6月16日（金）

16番 鈴木 圭一 議員

## 1. 民間イベントを活用した地域ブランド構築について

全国では、石狩鍋、石狩平野、石狩川など石狩という名前は認知されていますが、石狩市がどこにあるのかわからない、石狩市があることも知らない方もいらっしゃいます。石狩市を全国発信するために地域ブランドを磨き上げていくことは重要です。『モノ・コト』から石狩ブランドを構築するためには石狩の魅力をしっかりと発信し市としても後押しすることが重要なことと考えます。6月17日、18日に行うフィールドグッドフェス、8月11日、12日に行われるライジングサンロックフェスティバルは来場者、経済効果が大きいと考えますが、石狩市として民間で行っている大きなイベントを活かした、地域発信、地域ブランド構築に対する見解をお伺いいたします。

## 2. 子どもの職業体験事業について

先日、石狩青年会議所の小学生向けの事業「キッズシティーishikari」が行われました。子どもたちがお仕事を体験して、仕事とお金について学ぶという体験型の学習であり、子どもたちがとても楽しそうに真剣に参加されており、多くの保護者の方にも継続してほしいとの声を聞いております。以上の事から以下3点伺います。

①このような取り組みは、社会の中の様々な仕事を知ってもらえる良い機会となり、地域の子子どもたちが地元の企業や会社に興味を持ち、将来の担い手として地元に着してもらえるきっかけになると考えます。市として、地域企業と子どもを繋ぐ職業体験イベントを後押ししていく考えがあるか伺います。

②学校教育においては、知識習得の観点からも社会で働くことの意義や仕事に対する価値といった学びの機会を創出していくことも重要と考えますが、このような職業体験機会の創出に係る教育長の考えを伺います。

③子どもたちが体験する形の事業を多く増やすことで、子どもたちがより学びの意識向上につながると思いますが、併せて教育長として見解を伺います。

## 3. 南浄水場の施設処分について

花川南浄水場は平成27年3月に石狩市水道事業計画、水道施設処分方針を出されていますが、8年たった今も何も変わっておりません。花川南の中心部であるような使用していない施設を放置していても何も生まれないと考えますし、市民からも景観や街の雰囲気悪くしていると懸念の声が聞こえています。民間に払い下げて活用してもらえば、固定資産税の税収や経済効果が生まれることにもなります。また、地域住民の景観に対する懸念

も払しょくされていたと思います。そこで3点について伺います。

- ①市はこの間、花川南浄水場の施設利用について、どのような考えをもって施設処分や利活用の検討を進めてきたのか、これまでの経緯を伺います。
- ②民間に売却した場合は固定資産税の税収も見込めるものと思います。建物の状況により税収は異なりますが、仮に土地の評価額から仮定した土地利用に係る固定資産税の税収は年間どれくらい見込めるのか伺います。
- ③現存施設の利活用は困難と考えることから、施設撤去は必須と考えるところですが、いつまでに判断する予定なのか伺います。

#### 4. 市民の方への情報発信について

デジタル化が進む中、市民の方に対する情報発信の方法は多種多様になってきております。チラシなどや冊子の紙媒体に加えてホームページやSNSなどのデジタル配信していく中で、石狩市の情報発信について2点質問いたします。

- ①石狩市の公式ラインアカウントはレスポンスが良く、使いやすいのですが、登録人数が約4,000人と少ないと考えます。リアルタイムの情報を発信していくためにはラインでの発信は非常に有効と思います。登録数を増やさなければ多くの市民の方に情報が伝わらなく発信効果は少なくなってしまいます。市として今後どのようにしてライン登録数を増やしていく考えか伺います。
- ②市民の方からは学校や町内会などの地域情報を望む声もあります。デジタル技術を活用して身近で使いやすい情報発信の方法を検討していくことも必要だと思います。市としてデジタル技術を使った市民の方が使いやすい情報発信についてどのように取り組んでいくか伺います。

#### 5. 児童生徒の学力向上の対策について

石狩市の小中学校の全国平均学力は低い水準であり、令和4年度の調査では小学校は全国平均で下位、中学校では相当低い結果が出ております。2点伺います。

- ①市教育委員会として学力水準が全国よりも低い要因をどのように分析されていますか伺います。
- ②AIドリルの導入の予算を計上されていると思いますが、AIドリルの活用方法について伺います。

#### 6. UIJターン新規就業支援事業について

全国的に人口減少、少子高齢化が進むことは石狩市にとっても深刻な課題です。石狩市に移住してもらうためには石狩の魅力を感じるとともに、雇用が選択できること、雇用の安定が重要と考えます。国と北海道との共同支援事業の移住支援金は首都圏から石狩市への移住のきっかけになると考えます。

- ①石狩市における本支援事業の実績を伺います。また、この支援には就職先のマッチングサイトがあり企業が登録する形になっておりますが、石狩市の登録企業は何社あるか伺

います。

②市内企業への支援事業の認知が不足していると思いますが、市としてどのようにこの制度活用をしていく考えか伺います。

## 7. 漁業の加工支援について

石狩市の一次産業である漁業、農業が活性化することは非常に大事であります。漁業に関してはニシンの漁獲量が非常に高くなっております。ニシンのメスとオスには需要、価格差が大きく、オスは値段が付かない状況でございます。しかし、近年、食品加工技術が向上していることもあり一次産業の方が原料をそのまま出荷するのではなく、加工することで付加価値が付き、ブランド化、地域ブランドづくりのきっかけになることも有効だと思います。このことから漁業生産者の販路拡大や付加価値向上のための加工支援を市としても取り組んでいくべきと考えますが、市の見解を伺います。

## 8. 文化ホール建設について

文化ホールは、石狩市文化協会からも要望書が提出されており、市民からも建設を期待する声が上がっています。また、脱炭素の取り組み等、全国に先駆けた取り組みを進める石狩市のPRや団体等の記念事業や講演、式典などの利用も見込むことができ、運営についても、テナント出店や民間との連携など、運営手法の工夫も可能と考えられます。石狩市として文化ホールの建設についての見解を伺います。

## 9. 総合体育館について

石狩市内には子どもだけではなく、大人のスポーツサークルや各種スポーツ団体が存在しており、スポーツ健康都市宣言の石狩市らしく様々な団体が活動しております。現在はB&G、サン・ビレッジいしかり、各コミュニティセンターや学校の夜間開放などの利用で活動しているところがほとんどであります。大会などを開く際、2会場に分かれることもあります。2点伺います。

①屋内競技の大会が開くことのできる総合体育館の必要性に関して市としての見解を伺います。

②コミュニティセンターなどの既存施設の改修で体育館を増やすなどの可能性についても伺います。

## 10. 全国高等学校総合体育大会について

今年の7月25日から北海道でインターハイが開催され、石狩市では36年ぶりにソフトボールを7月28日から8月8日までスポーツ広場で行われることから以下2点伺います。

①現在の進捗状況と大会関係者の人数や、来場者見込み人数など市内への波及効果がどれくらい見込まれているか伺います。

②市民のスポーツであるソフトボールを多くの市民の方に見てもらおう機会を増やすため

に、市内を回るシャトルバスの運行が可能かどうか伺います。

---

### 3番 山本 由美子 議員

#### 1. 期日前投票について

本年5月に石狩市長選挙及び石狩市議会議員選挙が行われ、期日前投票は8日～13日までの6日間、市役所、厚田保健センター、浜益支所の3ヶ所で行われました。

- ①期日前投票所を利用した投票者は、有権者に対してどのくらいの割合であったのかお伺いします。可能であれば、旧石狩地区、厚田区、浜益区、それぞれの地区における割合をお答えいただきたいと思います。
- ②移動式の期日前投票所は、厚田区で4ヶ所、浜益区で6ヶ所設けられたと伺っております。移動式の期日前投票所を利用した投票者数は何名であったのかお伺いします。
- ③高齢化が進み、投票所まで行くことが困難な高齢者が増えてきております。また、学業や部活動のために投票所に行く時間を惜しむ高校生もいることと思われまます。そのような市民のために、厚田区や浜益区はもちろん、旧石狩地区にも移動式の期日前投票所の開設場所を増やすことが今後必要と思われまます。市のお考えを伺います。

#### 2. オンデマンド交通について

昨年10月から本年3月にかけて、「通勤オンデマンド」と「市内オンデマンド」の実証運行が行われました。

- ①アンケートでは、市民からどのような声が寄せられ、どのような課題が見えたのかお伺いします。
- ②「市内オンデマンド」に関しては、足腰が弱い高齢者から、自宅に近い乗降場所を求める声が多く寄せられています。既存のバス停やスーパーだけでなく、市民の希望に近い場所で乗り降りすることが可能ですか。お伺いします。
- ③また、花川の住民が花川北コミュニティセンターや花川南コミュニティセンターへ行く、花川の病院に行く、ということが非常に多いのですが、花川地区内での移動を可能にすることはできませんか。市のお考えを伺います。

#### 3. 高校生の通学費の助成について

石狩市内には公立高校が2校しかなく、多くの子どもたちが札幌市内の公立・私立高校へ進学しています。そのため、高校生をもつ家庭において、通学費が大きな負担になっています。近隣でも助成制度を設けている市町村は多く、未来を担う子どもたちを育むという観点からも、本市でも高校への通学費の助成制度を設けるべきと考えますがいかがですか。市のお考えを伺います。

#### 4. 公園の整備について

石狩市内には、広大な大地と緑豊かな自然を生かした公園が数多く存在し、子どもから大人まで多くの市民に親しまれています。利用する多くの市民からご要望が寄せられておりますので、市のお考えを伺います。

- ①障がいの有無に関わらず、誰もが一緒に遊べるように、インクルーシブ遊具を設置するお考えはありませんか。お伺いします。
- ②石狩ふれあいの杜公園内の遊歩道をウォーキングされる市民も多いのですが、健康器具を設置するお考えはありませんか。お伺いします。

---

6番 山崎 祥子 議員

#### 1. すべての子どもたちへ学校給食の無償について

全国的に学校給食を無償化する自治体が増えています。2017年は82市町村でしたが、2022年12月には254市町村に増え、昨年10月から青森市などが無償化となっています。

また、2018年の参議院文部科学委員会にて、国は「学校給食法の規定は経費の負担区分を明らかにしました。たとえば、保護者の経済的負担の現状からみて、地方公共団体、学校法人その他のものが、児童の給食の一部を補助するような場合を禁止する意図はない」とし、またこの一部の補助には全部補助、つまり無償化が含まれているという答弁でした。政府は子ども未来戦略で、学校給食の無償化へ調査をすることですが、今後、給食費無償化が全国的な流れになることを考えて石狩市においても、給食費の無償化の実施を求めますが、いかがですか。

#### 2. 放課後児童クラブの増設について

- ①昨今の家庭状況においては共働き家庭が多く、祖父母が身近にいない。働いている。高齢や病気などで面倒を見てもらえない等の状況がある中で、交通事故や不審者との遭遇等子どもたちを、取り巻く環境が変化していることから、放課後児童クラブを希望している保護者は多い。その中で、市として現在利用できていない子どもがどれだけいるか、把握している現状について伺います。
- ②厚生労働省より「新・放課後子ども総合プラン」が策定されておりますが、これに基づいて石狩市としての受け皿の整備について伺います。
- ③厚田区・浜益区も共働き家庭は存在し、児童の健全な育成を図る必要があると考え、放課後児童クラブの受け皿の整備が必要だと考えますが、伺います。

#### 3. 小児夜間診療について

石狩市の小児科が1箇所から2箇所に増えたことは、子どもを持つ親として大変心強いことです。ご尽力に感謝いたします。子どもは夜間に体調を崩すことが多く、夜間に

遠い病院まで連れて行くことは、子どもにとっても、親（保護者）にとってもかなり負担が大きいです。市内で、すぐに小児科へかかれるということが、子どもや保護者のことを考えてくれているという石狩市への信頼にもつながります。子どもを産み育てる環境を整えることが自治体の仕事だと考え、小児夜間診療の開設へご検討いただけないか伺います。

---

## 8番 金谷 聡 議員

### 1. 石狩版元気ショップの更なる拡充について

令和4年第2回定例会の一般質問において「障がいのある方の社会的自立や活動推進について」私から質問させて頂きました。その中で「石狩版元気ショップ」を開設し、障がいのある方の社会的自立や活動等の理解をさらに推進する考えがないか伺いました。その後、令和5年4月16日（日）に市内5か所の障がい者支援施設が参加し、イオンスーパーセンター石狩緑苑台店にて第1回「石狩版元気ショップ」が開催され、多くの来場者で賑わい大成功を収めたことは記憶に新しいところです。

この素晴らしい取組が障がい者の活動の機会となるイベントとして定着するよう、今後も継続して取り組むお考えはないか伺います。

### 2. 石狩市手話に関する基本条例制定十周年に向けた取り組みについて

2013年に石狩市手話に関する基本条例が全国に先駆けて制定されてから今年で10周年を迎えます。これまでの長きにわたり手話サークル、石狩聴力障害者協会、手話通訳者の方々による手話の普及活動や通訳支援の取組みが行われて来たことにより「手話は言語」ということが市民に少しずつ着実に浸透してきたのではないかと考えます。

今後さらに多くの市民に手話に触れる機会を持って頂く為、どのような取り組みを検討されているのか伺います。

### 3. 子どものお仕事体験について

本年5月21日（日）、花川北コミュニティセンターにて石狩青年会議所主催で「ドリームキッズシティ ISHIKARI お仕事体験」というイベントが開催されました。これからの石狩市を担う大切な子どもたちが様々な職業を疑似体験することにより、将来の職業選択に向けて想いを明確にすることができるとも素晴らしい体験になったことと確信しています。市内在住の小学3～6年生を対象に当初先着100名を定員として実施される予定でしたが、希望者の応募が殺到し途中から抽選に切り替わったとのことです。私の身近にも「参加したかったのに抽選に外れてしまった」、「気づいたときにはもう締め切られていた」と残念がる声が多数届いています。

今回のイベント実施には参加して下さった地元企業の皆さんがそれぞれ費用負担をして

くださって実現したと伺っています。今回残念ながらお仕事体験できなかった子どもたちの為にもぜひ今後も積極的に継続して実施されることを望みますが、加藤市長の所信表明の最初の項目として言及されている「未来を担う子どもたちの育み」にも合致する本事業に対し、市としてイベント運営費用の助成を行う考えはないか伺います。

#### 4. 「いしかりデー」の更なる拡充について

「いしかりデー」は、いつもより多くの石狩産食材を使った給食が市内の小中学校にて提供される日です。令和4年度は6月から10月まで各月1回の計5回行われ、季節ごとの旬の地元産食材を用いた給食は子どもたちに大好評でした。地元産食材を活用した食育で地産地消にもつながり、これからの石狩市を担う大切な子どもたちが地元へ愛着と誇りを持つことができる素晴らしい取り組みであると評価しています。

しかし、年に5日間だけの実施では効果は限定的であり、少々物足りなさを覚えてしまいます。佐々木教育長の教育行政執行方針でも挙げられている「今後も石狩産食材のより一層の活用を意識しながら、児童生徒の心身の健全な発達と望ましい食習慣の育成に努める」という理念にも合致する、この素晴らしい取り組みの更なる拡充に向けて、市の考えを伺います。

#### 5. 市内小中学校校舎の長寿命化について

市内の小中学校の中には築年数を重ね、修繕の必要に迫られている校舎があります。特に石狩中学校や生振小学校の校舎は外壁の一部が剥がれ落ち、鉄筋が露出している箇所が見受けられます。剥き出しになった鉄筋が風雨に晒された状態では腐食の進行が早まり、児童生徒の安全面からも好ましい状況ではありません。

長期的な観点から修繕費を少しでも抑制するため、市では小中学校校舎の改修計画を立て順次取り組まれていることは承知しておりますが、想定を上回る校舎の劣化には従来の計画を前倒しして早急に対処し校舎の長寿命化を図る必要があると考えますが、市の考えを伺います。

#### 6. 絶滅危惧種アカモズ保護について

絶滅危惧種であるアカモズが石狩市内にて繁殖していることが確認されておりますが、保護の観点から繁殖地の詳細につきましては公表されておられません。しかし、一部のバードウォッチング愛好家の方には既に知られているのが現状であり、写真に撮ろうとカメラを向ける方たちを私も見かけます。また一方でアカモズ繁殖地であることを知らずか、繁殖地の近くの民間地で土地利用の為に草を刈り取り、開発行為が行われている箇所もあると聞いています。

絶滅危惧種であるアカモズの保護をより万全なものとする為、繁殖地を公表した上で保護体制の構築を図るべきと考えますが、市の考えを伺います。

## 7. 動物発見通報システムについて

最近、私の住む樽川地区においてもエゾシカに遭遇する機会が増えてきました。つい先日も私の運転する車のすぐ前方を十数頭のエゾシカの群れが横切り、安全の為しばらく車を停止せざるを得ませんでした。また市役所横にある旧公民館解体時にもエゾシカが現れ、解体工事が一時中断されたと聞いています。このように市内住宅街のすぐ近くにもエゾシカが出没しているのが現状です。

特に夕暮れ時や夜間にエゾシカが急に道路を横切った場合、衝突事故のリスクが懸念されます。またエゾシカが山地で草木を食い荒らすことにより餌を求めてヒグマが人里近くに出没することもよく耳にするようになってきました。

このように人体に直接的・間接的に危害を加える恐れのある動物を発見した場合、緊急度によって警察に通報することは勿論ですが、データベース化し今後の対策を検討するために市のLINE公式アカウント内にある通報システムを活用し対応するのも一つの手法と考えますが、市の考えについて伺います。

## 8. 投票率向上に向けた取り組み等について

- ①先日実施された市長選・市議選において、投票率は過去最低の43.65%を記録しました。4年前の前回選挙に比べて7ポイント近く的大幅下落となっています。政治に対する市民の関心が低下しているのではないかと、当事者の一人として私も危惧しているところです。健全な市の発展の為には市民の積極的な参加が欠かせません。今回の記録的低投票率の原因をどのように捉えているか、また今後どのように投票率向上に取り組んで行くか考えを伺います。
- ②掲示板の箇所を示す地図ですが、中には非常に分かりにくい箇所がございました。より分かりやすい地図作成を要望すると同時に、行政のデジタル化の一環として地図データとしての受け取りも選択肢の一つとして提供する考えについて伺います。